

I R8 山形市小学校長会活動方針（案） R8, 4.1

山形市小学校長会は、不易と流行を見極め、教育を取り巻く諸課題の解決に精力的に取り組んでいく。更に、教育活動全体を通じたウェルビーイングの向上のため、持続可能なビジョンと仕組みの構築にも継続的に挑戦していく。

また、教育課題に係る現状の把握と分析に努め、根拠を明確にしたうえで改善の方向性について提言できる組織を目指す。県都及び中核市である山形市が持つ教育資源を大いに活用し、「感動・感謝・信頼にあふれた学校づくり」に向けて、組織一丸となって活動を推進していく。

I 今年度の重点 「持続可能で、将来性のある教育の仕組みづくりへの挑戦」

- 1 教育課題の解決に向けた関係機関との協働と実践的な取組の推進
- 2 多様性を尊重した持続可能な学校経営につながる人材育成の推進

II 山形市全体に関わる組織活動

1 次の教育課題の改善に向けて校長会全体で取り組む。

（１）人材育成【情報交換】

- ① 次期管理職候補、ミドルリーダーの育成
 - ・学校内OJTの検討
 - ・校長会主催研修
 - ・近隣校での連携
 - ・幹事会
- ② 若手育成：新採時からの計画的なキャリアアップの仕組み
 - ・幹事会
 - ・学校内OJTの検討
 - ・校長会主催研修
 - ・優良研修等の情報共有
- ③ 専門性のある人材の育成と情報共有（市小教研との連携）
 - ・各教科
 - ・特別支援教育
 - ・生徒指導
 - ・市小教研の意義確認

（２）学校経営の充実【中心協議：９月 情報教育部・１１月 健康教育部】

- ① ICTを活用した教育実践と校務効率化の更なる推進
 - ・校務支援ソフトの有効活用に向けての市教委との連携
 - ・児童用タブレットや電子黒板の授業における効果的な活用
- ② 適正な危機管理の定着
 - ・感染症や自然災害への適切な対応と具体的な手立てのための情報共有
 - ・コンプライアンスの徹底と適切な対応のための情報共有

（３）特別支援教育の推進【中心協議：５月 特別支援教育部】

- ① 「市特別支援教育計画」に係る市教委との連携
- ② 切れ目のない支援の実効性向上と関連機関や特別支援学校との連携充実
- ③ 高い専門性を持つ人材育成のための教育行政との連携

（４）学力向上【中心協議：６月 学校経営部】

- ① 市全体の学力についての現状分析（各校の情報の共有）
- ② 市全体の推進施策、授業改善研修等の在り方の検討

（５）働き方改革【中心協議：７月 行財政部】

- ・国や県、市の方針に基づいた実効性ある取組の共有と実践

（６）生徒指導の充実について【中心協議：１０月 生徒指導部 ◎毎月 情報交換】

- ① いじめや不登校、生徒指導上の問題について、実態把握と対策の検討
- ② 保護者や他機関との連携の在り方と効果的対応の検討

（７）幼保小連携【中心協議：１２月 教育課程部】

- ・関係団体や先進校との情報・実践共有

（８）市全体の事業の持続可能な形態や内容の検討【情報交換】

- ① 体育・文化・研究会等、持続可能な在り方についての検討
 - ・持続可能性
 - ・将来的な必要性
 - ・児童の資質能力育成の視点での優先順位

2 定例校長会議での教育課題に係る全体協議を通して、課題解決に資する。

- (1) 中心協議を担当する専門部は、事前に幹事会と連携して、情報収集に基づく話題提供や必要に応じた講師依頼を行う。
- (2) 協議のねらいや協議の論点を明確にするとともに、グループディスカッションと全体協議を効果的に設定し、学校経営の見通しが持てるようにする。

3 関係機関との連携を図り、持続可能な事業展開への道筋をつける。

- (1) 市教委や関係団体などと連携しながら、今後の市全体の事業のあり方を検討する。
- (2) 市教委や教育研究所との連携を図り、教職員の資質向上に資する研修のあり方を検討する。
- (3) 市教委や関係大学と連携しながら、今後の教育実習・教員育成のあり方を検討する。
・特に人的環境の改善について、学校の窮状を伝え、改善策を共に模索していく。
- (4) 山形市中学校校長会・上山市小学校校長会との連携を深め、情報交換により見識を広げる。

4 危機管理のための迅速な情報共有と対応についての市教委や市長部局との連携

- (1) 自然災害（大雨や地震等）や熱中症、感染症、クマ等の状況や防災についての情報共有を図る。
- (2) 児童の安全確保を一番に考えながら、状況に応じた柔軟な教育活動を行う。
- (3) テトル等を活用し、保護者との情報共有や緊急対応がスムーズに行えるようにする。
- (4) 迅速で適切な事故対応（いじめ・不登校・不祥事を含む）ができるようにする。

5 各専門部は、重点活動を明確にして活動を推進することにより、校長会で取り組むべき今日的な教育課題への改善に寄与する。

- (1) 各専門部の課題を焦点化して取り組み、成果を報告して共有すると共に、新たな提案を行うなどして課題解決に努める。
- (2) 各専門部の課題意識を生かした中心協議を設定し、全体研修の充実を図る。
- (3) 働き方改革やSDGsといった今日的課題解決のため、実践を積み上げる。

《研究大会での分科会発表割り当て一覧》

年 度	分 科 会	課題研究プロジェクト部
R 5	東北大会（山形大会）発表 II 教育課程	生徒指導部
R 6	発表なし	な し
R 7	県大会発表 I 学校経営	学校経営部
R 8	発表なし	なし
R 9	全国大会発表 II 教育課程	教育課程部
R10	発表なし	な し
R11	東北大会（山形市会場）	主 管

Ⅲ 各学校園における経営の充実 - Only One の学校園経営 -

山形市教育大綱（H28.11 策定）、山形市教育振興基本計画（H30.2 策定 R4 一部改訂）に基づき、山形市教育委員会発行「学校教育の重点目標 指導の指針【令和8年度から10年間】」に添って、感動・感謝・信頼にあふれた自律的な学校づくりに努める。

そのために、校長会として以下の点について共通理解を図る。

- 1 全ての活動が、児童・職員を中心としたウェルビーイングに通じるものとなっていることが前提である。
- 2 市小学校長会として同じ対応をすることと学校裁量で対応することの意思統一を図る。
- 3 学校規模や地域の実情などの差異をお互いに理解し、各校のカリキュラムが最大限に優先されるように配慮する。